

ISO 19650 パート 3

～ 資産の運用段階における情報マネジメント研修

受講者用ワークブック

Version 3.0 November 2022



BSI, a Royal Charter
Company

本資料のいかなる部分も、BSI から文書による許諾を事前に得ることなく、いかなる形態又は方法によっても無断で複製、伝播又は電子的に保存することは堅くお断りいたします。

...making excellence a habit.™

目次:

このコースの概要と注意事項.....	3
アジェンダ	4

このコースの概要と注意事項

「ビルディング・インフォメーション・モデリング(BIM) ISO 19650-3: 資産の運用段階における情報マネジメント」研修へようこそ。

講師および BSI スタッフは、本コースへのご参加を歓迎いたします。本コースは、ISO19650-3「資産の運用段階における情報マネジメント」について、この規格の開発にも協力した BSI が、最も権威のあるトレーニングとして、理解をして頂くことを目的としています。

講義と共に、演習問題とそのディスカッションや各グループによる発表を通して、参加した皆様は、このコースから最大限の効果を得ることができると私たちは信じています。参加することで理解が深まり、専門知識をさらに深めるための基礎となるでしょう。楽しみながら、新しい知識を習得してください！

本トレーニングの参加者には、BSI が主催する BIM 基礎コースの履修を必須としています。また、より深い理解を助けるために ISO19650-2 資産のデリバリーフェーズコースの参加を推奨しています。

● スケジュール

休憩時間や昼食後は、指定された時間通りにお戻りください。オンライン研修の場合は、休憩時間および昼食時間中も、ZOOM は接続したままでお過ごしください。マイクとカメラはオフにして頂いて構いません。講義中はカメラをオンにしてください。昼食休憩は、講義の進捗に関わらず 12 時～13 時とします。途中休憩は午前中 1 回、午後 2 回としますが、講義のタイミングで講師が判断し、実施します。

● 録画と録音、画面のキャプチャなど

録音、画面の録画・キャプチャなどは、ご遠慮ください。講義に使用する資料は、事前に配布済みです。

● 講義中の離席について

講義中に離席をする場合には、チャットボックスで、おおよその離席時間などをお知らせください。長時間の離席または頻繁な離席が確認された場合は、受講証明書の発行ができないことがあります。

(欠席扱いとなる可能性があります。) 事情により長時間または頻繁な離席をする場合には、必ず BSI 教育事業部 (045-414-3026) までご連絡ください。

● 携帯電話の使用

講義中は携帯電話の電源はオフ、またはマナーモードとしてください。

● 講義に関する質問事項について

講義に関する質問については、オンライン研修の場合は基本的にチャットボックスに記載してください。講義の間であれば、いつ記入して頂いても構いません。質問の内容は、講義の内容とさせていただきます。講義に関係のない各企業ごと個別の内容については、基本的にお答えできません。(コンサルティング業務に該当する可能性があるため)

● その他の要望など

その他の要望などがある場合は、講師または BSI 教育事業部までご連絡ください。

...making excellence a habit.™

アジェンダ

時間	トピック
09.30	コースの概要、自己紹介
	コースの目的、構成、学習目標
	1. 資産の運用段階の情報マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ● 日本と国際規格の運用段階の BIM の認識の違い ● 竣工後の建物の運用における活動とは？ ● 「アセット（資産）」の定義とその範囲 ● アセットマネジメントにおける情報マネジメントの必要性
	2. ISO19650-3 規格の概要 <ul style="list-style-type: none"> ● ISO19650 シリーズにおける ISO19650-3 ● ISO19650-3 の目次（ISO19650-2 との比較） ● 情報マネジメントの観点によるプロジェクトの組織 ● ISO 19650-3 で使用される新しい用語と概念 ● 資産情報マネジメントにおけるトリガーイベント
	3. 運用段階の情報マネジメントプロセス <ul style="list-style-type: none"> ● 情報マネジメントのプロセス ● ISO19650-3 における情報マネジメント・ルート ● 運用段階における情報マネジメントの活動
	4. 発注組織（資産所有者／運営者）の視点 <ul style="list-style-type: none"> ● 評価及びニーズの要求事項 ● 情報要求事項と資産情報モデル ● 組織の情報要求事項（OIR） ● 資産情報要求事項（AIR） ● 入札案内/サービス提供依頼のプロセス ● 情報交換要求事項（EIR） ● AIM の集約
5. 受託組織側（元請受託組織とそのデリバリーチーム）の視点 <ul style="list-style-type: none"> ● 入札案内/サービス提供依頼に対する対応 ● 能力・容量、動員計画、リスク台帳について ● BIM 実行計画への配慮 	

時間	トピック
17:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 受託 ● 詳細責任分担表、元請受託組織の EIR について ● TIDP/MIDP による情報の生産 ● 動員 ● 情報の生産/発注組織による情報モデルの受入/AIM 集約 ● 共通データ環境の利用
	6. 引渡時の活動と資産情報モデル (AIM) <ul style="list-style-type: none"> ● 資産情報モデル (AIM)の確立 ● 複合資産情報モデル (AIM) の構造 ● AIM 内で必要となる可能性がある情報の例 ● 資産情報モデル (AIM)の保守 ● 運用段階の CDE(共通データ環境) と企業システムとの連携 ● 情報の整合 (第 5.1.12 条) ● 運用段階・設計施工段階の情報マネジメントの関係 ● 資産情報モデル (AIM)の集約
	7. まとめ <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト全体で取り組む情報マネジメント ● 資産所有者/運営者 (発注組織) の責任 ● 受託組織/タスクチームの責任 (デリバリーチーム) ● 運用段階の BIM とは何なのか?
	質疑応答
17:00	講義終了

小休憩 (10 分) は午前 1 回、午後 2 回 講義の進捗に合わせて講師が指示します。

昼食休憩は 60 分で、12 時～13 時に実施いたします。

演習は 4 つございますが、講義の進捗次第で割愛する場合があります。

演習のグループディスカッションは、基本的に 4 人～6 人のグループとし、グループ割は講師が行います。